

ゴルフとの出会い
佳凜 小学校1年生の誕生日に、祖父からゴルフクラブをプレゼントしてもらったことがきっかけでゴルフを始めました。父もゴルフをやっていたので、一緒に練習をし、ゴルフの楽しさを教えてくれました。

佳音 お姉ちゃんがゴルフをしている姿を見て、4歳から始めました。ゴルフをするのが楽しくて、毎日練習しています。

練習の積み重ねが結果に
佳凜 平日は自主練習、土日はコースを回り、ゴルフ漬けの日々を送っています。ゴルフをやっている一番嬉しかったことは、練習の成果を発揮し、コースを良いスコアで回れたときですね。今までのベストスコアは72で、ドライバーだと200ヤード飛ばします。先



姉妹で目指すはプロゴルファー

二宮 佳凜さん (写真右・13歳 笠懸町)
 佳音さん (写真左・9歳 笠懸町)

青春ど真ん中!!

月行われた県大会では、準優勝することができました。

佳音 最終ホールで、スコーンとカップにボールが入ったときがとても気持ち良くて、練習にも力が入ります。練習や大会で意識していることは、気持ちをコントロールするということです。大会で前半のスコアが良くても後半でスコアを落としてしまうことがあり、父から、気持ちの切り替えを大事にするようアドバイスをもらいました。そして、先月行われたスプリングジュニアゴルフチャンピオンシップ8歳〜9歳女子の部では、全国優勝することができました。

いつか夢の舞台に
佳凜 今は来月の関東大会に向けて、日々練習に励んでいます。将来はプロゴルファーになって、常に笑顔絶やさず、見ている人を楽しませる選手になりたいです。

佳音 将来の夢は、プロゴルファーになることです。どんな状況でも落ちついてプレーができる選手になって、家族を喜ばせたいです。



練習風景

ALTキラメキワールド

市内の小中学校に勤務するALT (外国語指導助手) のみなさんが、日本で感じたことや自分のふるさとについて紹介します。



コーヒーの良さ
ディラン・バイさん
 (笠懸南中学校)

私の出身地であるオーストラリアでは、コーヒーがかなり大切にされています。シドニーの多くの街角にはカフェがあり、ほとんどの社会人は通勤中カフェに寄ってテイクアウトコーヒーを買うという習慣があります。日本でもコーヒーは人気がありますが、楽しみ方には大きなギャップがあると思います。

日本はコーヒーを買うのがとても便利です。缶コーヒーもドリップコーヒーもありますが、私にとっては、その味があまり合いません。オーストラリアでは、ド

リップ式よりエスプレッソ式の方が人気で、ブラックで飲む人は少ないです。クリーミーなカフェラテや、エスプレッソに泡立てたスチームミルクを注ぐフラットホワイトというコーヒーも人気があります。

オーストラリアのカフェでコーヒーを注文するのは店員と客が親密であるということの意味していて、パリストは多くの常連客の名前を覚えているものです。

みどり市・桐生市でも、オーストラリアのようなカフェが次々と開店しています。

最近、桐生駅近くのカフェで、本当においしくて懐かしい味のコーヒーを飲むことができました。ぜひ皆さんにも、エスプレッソのコーヒーの良さを知ってほしいです。

